

1. 件名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 JRR-3 原子炉施設に係る新規  
制基準への適合性確認に関する事業者ヒアリング（229）

2. 日時：令和2年12月1日（火）17時40分～19時00分

3. 場所：

（1）原子力規制庁10階南会議室※

（2）国立研究開発法人日本原子力研究開発機構原子力科学研究所

※本ヒアリングは、テレビ会議にて実施

4. 出席者：

（1）原子力規制庁 原子力規制部

新基準適合性審査チーム

戸ヶ崎安全規制調整官、加藤安全審査官、荒川安全審査官

（2）国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

研究炉加速器技術部 JRR-3 管理課 担当者 他4名

5. 議事要旨

（1）原子力規制庁から、炉心流路閉塞による炉心冷却機能の喪失の BDBA 対応について、非常用排風機のフィルタ機能の有効な限り運転を継続するという観点から、フィルタ機能をどこまで期待するのか考え方を整理するとともに、その際の対応手順を説明するよう求めた。

（2）国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）から、上記（1）の説明について了解した旨の回答があった。

（3）原子力機構から、設備機器耐震性評価に係るコメントについて、資料1及び資料2に基づき説明があった。

（4）原子力規制庁から、上記（3）の説明について了解した旨の回答をした。

6. 配付資料

・原子力機構からの配付資料

資料1 JRR-3の設備機器耐震性評価（設工認その13）に係る追加説明事項について

資料2 別紙 耐震評価リスト